

**広島県地域政策局所管公募型プロポーザル方式等選定委員会（地域公共交通への自動運転導入計画策定支援業務）議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和8年7月9日 13時から14時30分まで
2	場 所	オンライン
3	出席委員	広島県地域政策局 公共交通政策課長 広島県地域政策局 地域政策総務課長 広島県地域政策局 公共交通政策課交通活性化担当課長 広島県地域政策局 中山間地域振興課長 広島県総務局 DX推進課長
4	議 題	地域公共交通への自動運転導入支援業務の業務委託者の選定
5	担当部署	公共交通政策課
6	開催方法	参集（オンライン）
7	議事内容	<p>提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査した結果、最も高い評価値を得たA社（株式会社ティアフォー）を最優秀提案者として決定した。</p> <p>なお、各提案者に対する主な意見は次のとおり。</p> <p><b>【A社：株式会社ティアフォー】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国で自動運転の実証運行に携わっており、導入に向けた技術的助言が期待できる。</li> <li>・ 技術的な実現可能性だけでなく、費用対効果について、直接効果だけでなく、間接的な効果も含めた提案となっている点が評価できる。</li> <li>・ 執行体制は、技術的な自動運転への助言とコンサルタント業務の分業体制が整っている。</li> <li>・ 本業務の趣旨を良く理解した提案であり、また、知見やノウハウ、経験も豊富であることに加え、各プロセスにおける具体性も高いことから、成果も期待でき、評価できる。</li> <li>・ 多くの実績に裏打ちされた、広島県に使える具体的で有益な実務提案であると考えられる。特に、本県が直面する現実的な壁を的確に把握した上で、県主体コンソーシアムによる一括共同調達モデルなどの実務的な解決の方向性を提示している点が高く評価できる。</li> <li>・ 各項目具体的な提案なされているが、自治体側に過度の負担が掛からないような伴走支援を考慮してほしい。</li> </ul>

**【B社：キャノンビズアテンダ株式会社】**

- ・ 導入計画策定については、勉強会やワークショップなどにより、関係者間の合意形成を提案されるなど、丁寧な進め方は評価できる。
- ・ 本業務の趣旨を良く理解した提案であり、また、全国規模のネットワークや専門性を有しており、他県での経験も豊富であることから、評価できる。
- ・ 対象4市町の地域特性を同一の客観的基準により評価する「共通スコアカード」という整然とした調査評価フレームワークを構築している点は評価できる。

一方、コンサルティングプロセスが中心であり、4市町の個別計画に落とし込むための実効的なアプローチがやや見えにくく、自治体ごとに進捗の濃淡が出るのではないかと懸念される。

- ・ 市町や地域に入り込み、現場主義で業務を行う姿勢は評価できるが、自動運転に関する業務の経験が少なく、業務成果が未知数である。
- ・ 他社に比べ、自動運転に関する類似業務の実績が乏しく、技術的な助言・検証に不安が残る。